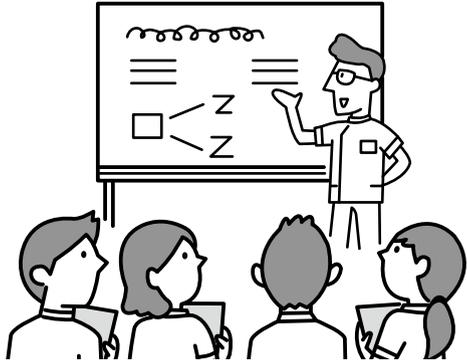


Nursing Star

for Speciality

日精看ニュース
No.753



安心感とモチベーションを高める！

新入職員

オリエンテーションの工夫



イラスト/BIKKE



もうすぐ4月。精神科看護職になることを決意した新人たちが入職してくる時期です。
みなさんの職場でも、新人を迎える準備を始めていることと思います。
新人との出会いの最初の場となる「新入職員オリエンテーション」。
職場をよく理解し、精神科看護へのモチベーションを高め、
元気に働き続けていくために、どのような工夫をしているのでしょうか。
今回は、会員施設のオリエンテーションの一部を紹介します。

1 看護職自身のセルフケアを大切にしてほしい！ ——元気に働き続けてもらうために

セルフケアの力を高めることが スタッフを守り、働き続けられる力になる

当院は東京の池袋から電車で6分の立地にあり、毎年20~30人の新卒者が入職します。就職を機に上京して、新たな生活を始める方が多いのが特徴です。また、精神科に入職する方は繊細な方が多いように感じています。だからこそ、職員自身が自分を大切に、セルフケアできるように支援しなければならないと考えています。

そこでオリエンテーションでは、まず最初に「Let's enjoy your nurse's life in TMH」と題し、職員自身が今後、仕事や生活の中で起こりそうな困りごとに対処できるように、仕事上のルールや生活面における倫理的な事項について、具体的なエピソードを紹介しながらQ&A方式でかみ砕いて説明しています。さらに、メンタルヘルス研修を4月の看護部教育委員会新人研修で行っています。各個人のセルフケアを高めていくことが、スタッフ一人ひとりを守ることにつながり、働き続けられる力になり、それがさらに組織としての健康につながると考えています。

生涯を通じて健康に働き続けてほしい！ ——みんなで健康で安全な職場をつくらう

当院では、「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)」の実現に向けて取り組んでいます。オリエンテーションでは1時間かけて、師長が「業務上の危険な因子」をピックアップして予防や対策などを伝えています。また、一人暮らしを始めて困ったときや、患者さんと

の関係で悩んだとき、微熱が出たときにどうするかなど、師長自身のエピソードも盛り込みながら説明して、生活上の一つ一つの細かなことが健康づくりにつながっていくことを伝えています。師長自らが一緒に健康的な職場をつくっていかうと呼びかけることは、新人に健康で働いてほしいという思いを伝えるだけでなく、師長自身がスタッフ全員の健康づくりをあらためて意識する機会にもなっています。

また、ノーリフトケアコーディネーターの資格をもつ副部長が腰痛予防に関する知識を伝え、実際に体を動かしてみるプログラムも実施しています。ストレスによる腰痛について理解し、新人の負担軽減にもつながりたいと考えています。

みんなで悩み、学びあっていきたい

オリエンテーションの最後には「新採用者を迎える会」を実施し、部長・副部長・CNS・師長・新入職者で交流を深めます。みんなで輪になって、趣味や出身地などを交えた自己紹介をしています。お互いの人となりが見えることは、相談のしやすさにもつながると考えています。

新人の方は感性が豊かで柔軟だと感じます。これからたくさんのことを体験してもらうなかで、一緒に悩み、学びあいたいと思っています。



一般財団法人精神医学研究所附属
東京武蔵野病院 看護師長(東京都)
福岡弥生

東京武蔵野病院

病床数601床(精神科552床 内科・他診療科49床)。精神科救急入院科病棟、精神科急性期治療病棟、身体合併症病棟、地域移行支援病棟など。職員数約600名。



(左)全体オリエンテーション。(右)4月以降は以降は新人教育計画に沿った研修を受け、精神科看護師として成長。

スケジュール

	午前	午後
1日目	全体研修 ●東京武蔵野病院の将来展望 ●医療安全 患者と職員の安全確保 医薬品安全管理 ●当院における感染症とその対策 ●精神保健福祉法について	新入職看護師研修 ●Let's enjoy your nurse's life in TMH ●勤務表の考え方/鍵の取り扱い ●ヘルシーワークプレイス ●持ち上げない・抱え上げないケアと腰痛対策 ●「看護職の倫理綱領」 など
2日目	新入職看護師研修 ●身につけておきたい医療現場の個人情報と情報リテラシー ●精神科看護師に必要な感染予防 ●新人看護師が学ぶ看護記録 ●看護補助者との協働	新入職看護師研修 ●新採用者を迎える会 ●各病棟へ移動しオリエンテーション

2 身体ケアの技術や精神科看護を確かめよう ——肩の力を抜いて、焦らず成長していこう!

病院が地域で果たす役割を伝える

当院は毎年、6、7名の新卒者が入職します。

最初の4日間は、同じ法人の一般病院と合同オリエンテーションを行っています。ここでは、病院理念、どのような疾患の方が入院してどのような治療やケアが行われているのか、訪問看護やデイケアでの取り組みなど、病院の全体像を時間をかけて説明します。当院が地域でどのような役割を果たしていくかが課題なので、地域のニーズを理解しておかなければならないと考えています。接遇や倫理についても、患者さんが書いた詩に触れながら、患者さんの立場を深く考える時間をつくっています。

身体ケアを学びながら ウォーミングアップ

5日目以降は自院で看護部オリエンテーション(3日間)を行います。当院は高齢者や介護度の高い患者さんが多いので、身体ケアやフィジカルアセスメントは必須の技術です。

そこで、現場に入る前のウォーミングアップも兼ね、「呼吸・循環技術」「経管栄養」「移乗・体位変換」「膀胱留置カテーテルの挿入と管理」「皮下注射」「救急蘇生法」などを学び直します。主任や同僚と体を動かして実技

をするなかで、コミュニケーションが進み親近感も増え、教える側にとっても技術を学び直す機会になっています。

盛りだくさんの内容ですが、オリエンテーションですべてを詰め込んでもらおうと考えてはいません。当院では、夏に2週間、他病棟で学べる研修会を行っています。身体ケアが苦手な人は身体ケアが頻繁に行われている病棟でじっくり学ぶことができ、身体拘束のケアを学びたい人は該当する病棟で学ぶことができます。まず全体像をつかみ、最初にできなかったことを1年間かけてじっくり学んでいくことをめざしています。

肩の力を抜いて、ゆっくり自分の目標に向けて経験し、学んでいけば成長できること、そして、精神科に就職できたことを誇りに感じてもらえるようなオリエンテーションを続けていきたいと思っています。



社会医療法人明和会医療福祉センター
渡辺病院 看護部長(鳥取県)
濱本由美子



同 副看護部長兼看護師長
木下貴雄

渡辺病院

308床(精神科救急入院病棟、認知症疾患治療病棟、精神療養病棟ほか)。職員数300名。
法人内に一般科病院のウェルフェア北園渡辺病院、介護医療院、グループホーム(5か所)など。



・スケジュール・

1 ~ 4 日 目	全体研修(法人全体) ●地域医療新時代における当院の役割 ●接遇とは ●当院における依存性疾患治療と家族支援の取り組み ●発達障害の理解と支援 ●認知症について ●コンプライアンスについて ~個人情報保護法・SOS窓口等~働き方改革法 ●やさしい人が元気に働き続けられるシステム ●ストレスチェック・ハラスメント対応 ほか
	看護部研修 ●ポートフォリオの説明・作成 ●看護倫理 (実技) ●感染管理 ●食事援助技術 ●注射技術 ●CVPPP ●呼吸・循環技術 ●活動・休息援助技術(移乗・体位変換) ●排泄援助技術(膀胱留置カテーテルの挿入と管理など) ●救急蘇生法(BSL) ほか

3 自分が患者さんなら、どんな看護師と出会いたい? ——「成長するために」で考える

スタート時点でたしかな目標をもつ

当院には、毎年10数名の新卒者が入職します。同法人の病院との合同オリエンテーション(2日間)で法人や病院の説明、精神科病院で働く心得についての説明などを行ったあと、2日間のオリエンテーションを行います。

そのなかで私は看護サービスや倫理の講義を担当しています。日々の業務では自分主体に考えてしまいがちなため、まずは患者さんや家族の立場だったらどのような病院を選ぶのか、どのようなサービスを受けたいのか、どんな看護師に出会いたいのかという感覚をもつことが大事だと伝えています。

また、看護師としてスタートした時点で、自分がどのような看護師になりたいのか、そのためにはどのように成長していけばよいのかというイメージをもつことは、とても大切です。当院ではオリエンテーション初日に1年間の目標や学習計画、研修での学びを記載する「研修手帳」を配布しています。その1ページ目の「成長するために」は「将来めざすもの」「今年度めざすもの」「そのためのプラン」を書き込む様式になっています。新人にはオリエンテーション中にこのページに書き込んでもらい、2日目の最後に、師長の前で発表してもらいます。

この研修手帳は、数年経ってから読み返すことで初心に立ち戻ることができ、自分の成長を感じられる大切な宝物になっています。

「成長するために」のページ

成長するために

このページは、あなたが1年間の目標や学習計画、研修での学びを記載する「研修手帳」の一部です。このページに記入した内容は、2日目の最後に、師長の前で発表してもらいます。

将来めざすもの

今年度めざすもの

そのためのプラン

専門職能団体への入会で、 全国の仲間とつながり学べるように

当院では1年目から看護専門職として、日精看などの専門職能団体に入会するようにしています。オリエンテーションでは、これから看護専門職として日々学び続ける新人のために、専門職能団体の意義、全国の看護職とつながり学ぶことができる学術集会や研修会、精神科看護実践の課題や想いを共有できる月刊誌などについて、日精看のパンフレットや動画を見てもらいながら伝えています。また、自分自身を守るために専門職能団体の賠償保険加入についての案内もしています。



一般財団法人信貴山病院分院上野病院
看護部長(三重県)
中住 薫

上野病院

410床(精神療養病棟、精神一般病棟、精神科急性期治療病棟、認知症治療病棟、特殊疾患病棟ほか)。職員数384名。グループにハートランドしぎさん、デイケアセンター、訪問看護、グループホームなど



(左)手洗いチェッカーで手洗い状況を確認(上)个人防护具装着の練習

・スケジュール・

	午前	午後
1 ~ 3 日 目	法人研修(3日間実施)	
4 日 目	●医療安全 ●円滑なコミュニケーション ほか	●アンガーマネジメント ●上野病院職員としての心得 ●isoについて ●新入職者を迎えるにあたって ●上野病院上層部役職者紹介
5 日 目	●身だしなみについて ●報告・連絡・相談 ●鍵の重要性、取り扱い ●看護サービス・看護者の倫理綱領 ほか	●看護クニカルラダー・ナーシングサポート ●新人看護職員教育体制 ●精神保健福祉法 ●日精看・日看協入会案内 ●レクリエーション ●「成長するために」発表 ほか

4 新病院設立を機に、 多職種オリエンテーションを実施

以前、当院は、長期入院の方が中心の病院でしたが、2021年4月に新病院として新たなスタートを切りました。新病院設立に向けて4割の患者さんの退院支援に取り組み、院内はもちろん、岩手県内の多職種の方たちとの顔の見える関係づくりとチームでケアする大切さを、身をもって実感しました。

新病院設立を機に、看護職3名(すべて中途採用者)、他職種7名が入職しました。それまでは一度に複数の職員が入職することが少なかったため、職種ごとで個別にオリエンテーションをしてきましたが、多職種共通に知っておくべきことは一緒に伝えることが効率的であり、チームで患者さんの地域生活を見据えながらケアをしていくには最初の段階で同期としてのつながりをつくるのが大事であることから、多職種と部署ごとの2種類のオリエンテーションを行いました。精神科リハビリテーションは作業療法士の専門的な視点から話を聞くことができ、実感をもって学べるオリエンテーションになりました。

いままでは私が師長がほとんどの教育を担当してきましたが、今後はリスクマネジメント部会委員や防

災対策委員会メンバーなどにも講義を受け持ってもらい、教える側としての責任感をもつことで、お互いが伸びあえる機会になるように実施していきたいと考えています。

また、来年度に向けて師長会で話しあったところ、「話を聞くだけでなく、現場での学びがあると、さらに理解が進む。このタイミングで他部署でさまざまな経験をしてほしい」という意見があり、2022年度は他病棟やデイケアでの実習もオリエンテーションに取り入れることにしました。

今後、中途採用の入職者が1名しかいない場合でも、状況に合わせながら、多職種から学ぶオリエンテーションを実施していきたいと考えています。



医療法人財団正清会 遠野はやちねホスピタル
総看護師長(岩手県)
高木千鳥

遠野はやちねホスピタル

病床数116床(精神科病棟56床、認知症治療病棟60床)、デイケア、グループホーム。
内科診療、在宅訪問診療にも取り組み始めている。
地域的に新卒の採用は少なく、身体科を経験した中途採用者が中心。



・スケジュール・ *スタッフの都合を調整しながら実施。

内容	全体オリエンテーション	看護部オリエンテーション
	<ul style="list-style-type: none"> ● 法人の概要、雇用条件、就業規則 ● 病院理念・方針 ● 職業人としての心構え、接遇 ● 医療事故防止 ● 院内感染対策 ● 精神保健福祉士の役割について ● 薬剤科の概要 ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ● 精神科作業療法 ● 認知症治療病棟 ● 電子カルテについて ほか

5 明日からの訪問に困らないために ——訪問看護の流れやiPadの操作に重点

オリエンテーションの冒頭には、「目的意識をもって仕事と向きあうために、『何のために』を自分で言語化する」ことを常に意識してもらうことや、会社の理念・方針に立ち戻りながら業務にあたってほしいことなど、基本姿勢を伝えています。また、新人が仕事上で困ったり、悩んだりしたときに立ち戻れる軸として、会社の理念や方針についての理解を深める教育体制を整えています。

いままでオリエンテーションでは多くの時間を精神科訪問看護ケアについての学習に費やしていた時期もありましたが、試行錯誤の末、現在は「翌日から訪問看護に出ても困らないために、1日の流れをイメージできること」を大切にしています。具体的には、個人情報の取り扱いをはじめ、勤怠管理、チームとの連携方法、iPadの使用方法などについてです。

特に、iPadを使った訪問看護専用の電子カルテシステムiBowの操作方法に関しては、重点的に学んでもらっています。新人各々が電子機器への適応スピードも異なりますから、初日に看護記録の記載を練習するなど、

操作感を体得してもらっています。集合研修での操作の練習と、現場でのOJTを効果的に組みあわせながら、新人をサポートしています。

そして、訪問看護の1日の流れや看護業務を具体的に時間軸でイメージするため、行動計画表を初日に研修担当者で作成しています。以後2週間で訪問する予定の利用者さんの目標をiBow上の看護計画で確認し、行動計画表の下準備を行います。行動計画表には、「訪問で必ず行うこと」と「何のためにするのか」を記載する箇所があり、それについては現場のスタッフとのやりとりで情報収集をしてもらうよう新人には伝え、利用者さんへの理解を通して新人と先輩スタッフが交流できるような橋渡しを行っています。

訪問看護は一人現場なので、疑問や困ったことは自分で抱え込まず、まわりの人に聞くことの大切さも伝えています。話しやすい土壌づくりに努めてきた成果もあり、最近では全社のスタッフが入っている社内SNSで新人が質問することも増えてきています。

トキノ株式会社 訪問看護ステーションみのり

全国に13か所の拠点をもち、スタッフ数68名。新入職者の大半が、病院勤務を経験した中途採用者。訪問看護ステーションのほかに教育事業、生活介護事業も運営。



入職日(月初めの平日)、全事業所の新入職員に対し、教育担当者がZoomを使って実施しています。
(左上)星さん、(右上)木下さん、(下)岡本さん。

トキノ株式会社 訪問看護ステーションみのり
人材活用推進部 部長(大阪府)
木下将太郎

同 作業療法士 同 看護師
星 竜平 岡本史彦

全国の仲間と学び、出会い、つながることができる日精看! 紹介動画を、ぜひ新人への説明にご活用ください!

日精看の紹介動画では、研修会や学術集会、精神科認定看護師制度などのキャリア開発支援、また政策提言や社会貢献活動などのさまざまな活動を紹介しています。

7分半の動画ですので、新入職者オリエンテーションの休憩時間、専門職能団体の説明・案内の際に、ぜひご活用ください。協会ホームページのトップページからダウンロードできます。

パンフレットも用意しています。詳細は8面をご覧ください。



一般社団法人
日本精神科看護協会

日本中の精神科の仲間とともに



Japanese Psychiatric Nurses Association

いまさら聞けない!

「基本の「き」から教えます!」



草地 仁史
日本精神科看護協会
業務執行理事

連載
第3回

診療報酬

ニュースや経営の話では、よく話題にのぼる診療報酬。でも、普通のケアの中では、なかなかなじみがないのではないのでしょうか。

いまさら聞きづらい基本的な仕組みから計算方法etc……、この機会に、4回にわたっていいにお伝えします!

■「〇〇料と〇〇加算」

診療報酬項目を見てみると、初診料のように「〇〇料」という項目と、時間外加算のように「〇〇加算」という項目を目にします。簡単に説明すると、診療報酬には「基本料金(〇〇料)」と「その料金を受ければ加えることのできるオプション料金(〇〇加算)」というセットで算定できる仕組みがあるということなのです。たとえば、初診料(288点)を算定するのが診療時間以外の時間だった場合には、通常よりも手厚い医療サービスを提供することになりますから、その対価として時間外加算(夜間85点)を加え、合計373点が算定できるようになります。

では、このセット算定で一番ポピュラーな「入院料と加算」を例に、解説します。

病床をもつ医療機関の診療報酬は、基本的に病棟の特徴によって入院料が決まります。精神病棟は「入院基本料」のひとつで、さらに提供する医療サービスの特徴によって精神科救急入院料、精神科急性期治療病棟入院料、認知症治療病棟入院料などに区分されています。入院基本料は、入院中の管理・環境・看護職員数など入院医療の体制を包括的に評価しているものですから、患者さんに提供する入院医療サービスによって診療報酬点数が

異なってきます。そのため各種入院料を算定するためには、「施設基準」と「算定要件」をクリアする必要があります。

精神病棟でもっとも高い点数の精神科救急入院料の場合、「施設基準」では他の精神病棟よりも医師や看護師の配置を手厚くする必要があります。入院患者についても重症度が高いとされる対象者を受け入れる割合などが設定され、多くの施設基準を満たさなければなりません。また「算定要件」についても、入院患者の6割以上が3か月以内に自宅退院することなどの条件が課されています(表1)。

入院料が決定すると、入院料によって必要時に算定できる加算があります(表2)。加算は医療機能に応じて設定されていますから、すべての精神病棟で加算できるものもあれば、できないものもあります。このように、各精神病棟(入院料)の医療機能に即したサービスをさらに充実させている場合には、加算を算定できる仕組みになっているのが診療報酬の特徴といえます。

今年度は2年に1度の見直しの年で、3月中旬に改定の基本方針と内容が発表されます。日経看護ホームページから中医協資料が閲覧できますので、ぜひご覧ください。

表1 施設基準と算定要件例(精神科救急入院料の場合)

施設基準	
・当該病院には、精神保健指定医が5名以上常勤していること。	
・当該病棟の年間の新規患者のうち6割以上が措置入院、緊急措置入院、医療保護入院、応急入院、鑑定入院及び医療観察法入院のいずれかに係るものであること。 など	
算定要件	
当該入院料は、入院日から起算して3月を限度として算定する。なお、届出を行い、新たに算定を開始することとなった日から3月以内においては、届出の効力発生前に当該病棟に新規入院した入院期間が3月以内の患者を、新規患者とみなして算定できる。	
精神科救急入院料1	30日以内の期間 3,579点 31日以上期間 3,145点 など

表2 加算と算定要件例(精神科救急入院料の場合)

非定型抗精神病薬加算:15点	
※救急、急性期、療養病棟のみ算定可能	
当該病棟に入院している統合失調症の患者に対して、計画的な医学管理の下に非定型抗精神病薬による治療を行い、かつ、療養上必要な指導を行った場合には、当該患者が使用した1日当たりの抗精神病薬が2種類以下の場合に限り、非定型抗精神病薬加算として、1日につき15点を所定点数に加算する。	

●最終回となる次回は、「診療報酬を改定する理由」についてご紹介いたします。

連載

密着!! 目精看版ラダー導入への道

この連載では、所属施設に「精神科看護職の臨床ラダー」を導入しようと考えた、医療法人北仁会石橋病院(北海道小樽市)の副看護部長の岩代さ

んが、臨床ラダー導入までの道のりをタイムリーに報告します。今月から、行程表(2月号参照)をもとにしたラダー導入準備について伝えます。

※臨床ラダーの基本は『ナースング・スター』2021年8月号の特集をご参照ください。

第7回

ラダー導入に向けたワーキンググループの構成

臨床ラダー(以下、ラダー)導入の準備を進めるにあたって、当院では「ワーキンググループ(以下、WG)」と、その下に位置づけられる3つの「小グループ」を構成しました。

WGのメンバーは、師長・主任会から選ばれた師長2名、主任2名で構成され、それぞれが各小グループ

に属します。そして、師長・主任会のメンバー全員が小グループのいずれかに属し、全員で準備を進めていくことにしました。ラダーの運用を中心に担っていく師長・主任会のメンバー全員が準備に携わり、ラダーの理解が深まることをねらいとして、この構成にしました。

語り手

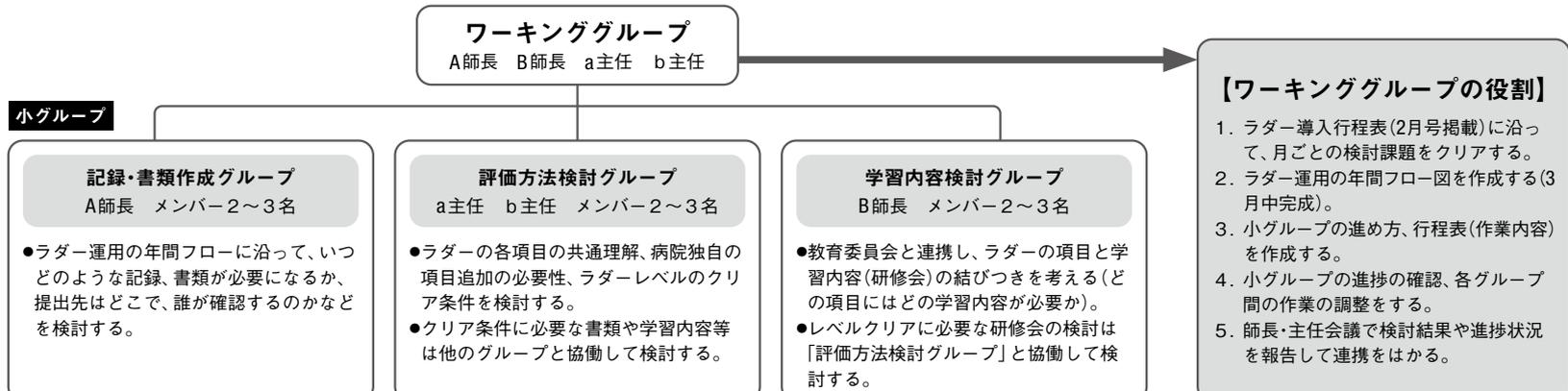


岩代 純

医療法人北仁会石橋病院
副看護部長(教育担当)、精神科認定看護師
北海道支部教育委員長

医療法人北仁会石橋病院の概要

北海道小樽市にある単科精神科病院。精神病棟入院基本料15対1。病床数372床、病棟数6病棟(身体合併症、女性閉鎖、男性閉鎖、ストレスケア、男性依存症、地域移行機能強化病棟)、外来、精神科デイケア・ショートケア、精神科訪問看護があります。



●4月号は休載します。5月号をお楽しみに!

お買い物で
社会貢献!

全国に広がっています!



日精看 しごとを つくり プロジェクト

「しごつくアンバサダー」の輪

2013年11月から始まった「日精看 しごとをつくりプロジェクト」は、地域の事業所ではたらく精神障がい者の皆さんの自立を支援する活動です。通販カタログ「アンファミエ」のしごつく版カタログを利用して普段のお買い物をするだけで、特典としてついてくる「お楽しみギフト」を通じて、事業所の収益アップにつながります。会員の皆さんの応援によって、しごつくは広がっています!

全国各地からエールが届いています!

「しごつくアンバサダー」とは?

2013年11月より実施している、日本精神科看護協会と株式会社ナースステージの共同企画「日精看 しごとをつくりプロジェクト」の趣旨を深くご理解いただき、積極的な参加による応援を継続的に行ってくださっている会員の方々のこと。自薦・他薦、いつでも受け付けております!

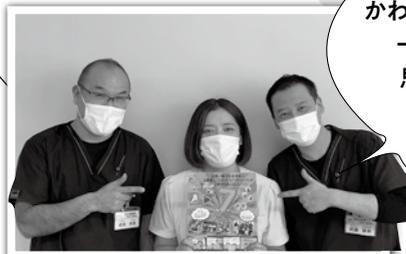
メンバーでおそろいのカーディガンを購入しました。そのほか、ソックスや小物など、日常的に使える商品がたくさんカタログに載っているので、これからも利用したいと思います。



一般財団法人信貴山病院ハートランド しぎさん・子どもと大人の発達センターの主任・吉田愛さん(写真後列左から2番目)



公益財団法人慈愛会奄美病院の山田かおりさん(写真前列右から2番目)



社会医療法人函館博学会函館渡辺病院・芥川三月さん(写真中央)

かわいいお楽しみギフトが届きました。一生懸命制作した当事者さんの思いが伝わってくるようでした。これからもプロジェクトを応援していきます!

1月号と一緒にお届けした最新カタログでお買い物をお楽しみください!



次回のお届けは4月号で!

提携している事業所ではたらく当事者の皆さんの「しごと」に直接つながって、売り上げだけでなく、はたらく喜びややりがい、自信を支えるきっかけを増やせるという点に、参加する意義を感じています。



医療法人財団青山会福井記念病院の副院長・看護部長の中庭良枝さん(写真前列中央)



済生会川口看護専門学校専任教員の 中島由希江さん(写真前列右から2番目)

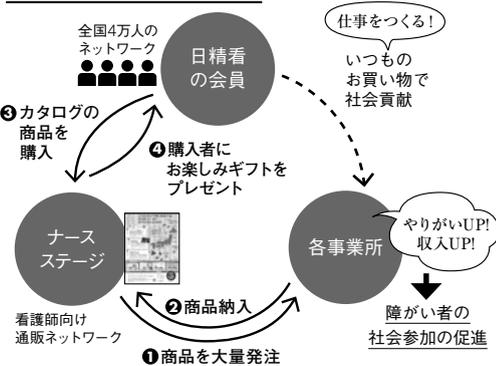
※このほかにも各地から「しごつくアンバサダー」が誕生しています! お名前は、いずれも取材にご協力いただいた代表者です。※所属は取材時点です。

日精看 しごとをつくりプロジェクトにご参加ください!

2013年11月より始動した「日精看 しごとをつくりプロジェクト」が、おかげさまで2021年秋に8周年を迎えました! 精神障がい者の自立支援を目的に始まった当プロジェクトは、通信販売でおなじみの株式会社ナースステージの協力のもと、普段の買い物を通じて、当事者の方々が希望する「しごと」をつくるというこれまでなかった新たな仕組みで展開してきました。精神障がい者が自立をめざしてはたらく事業所の商品を大量に発注してナースステージが買い取り、お買い物の特典としてカタログ利用者に還元するという仕組みは、「かわいい特典をもらえてうれしい!」「精神障害の方々に応援できる」と好評をいただいています。

※株式会社アンファミエは、社名を株式会社ナースステージに変更しました。

無理なく楽しく社会貢献の輪



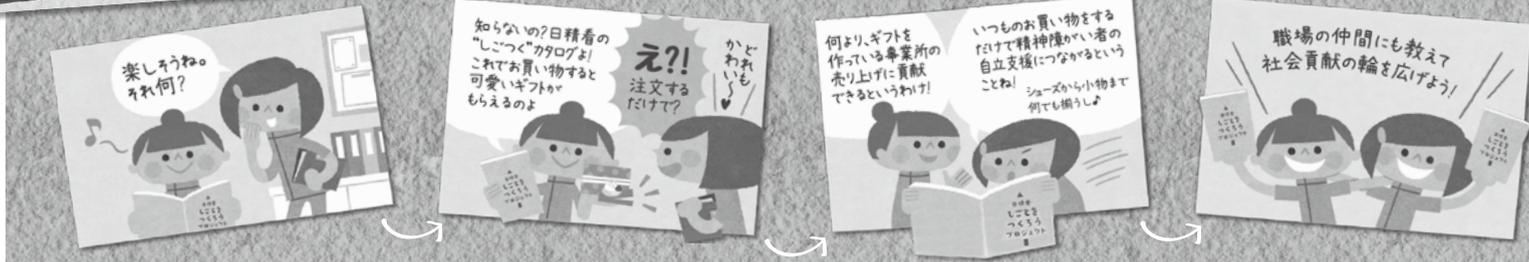
しごつく版「アンファミエ」最新カタログでお買い物をするだけ!

カタログは「ナースステージ」と一緒に各施設にお届けしています。カタログの追加をご希望の場合は、送付先、氏名、希望冊数をご記入のうえ、件名を「カタログ希望」として、nursingstar@m-s-com.comまでメールをお送りください。数に限りがありますので、先着順とさせていただきます。



※表紙写真はバックナンバーの一例です。

今さら聞けない「しごつく」って?!



「しごつく」のすべてが分かる動画を公開中!





Action & Report!

日精看の取り組みを中心に、
さまざまな出来事や話題を
ピックアップして詳しくご報告します。

●令和3年度 第5回教育認定委員会

日時：令和4年1月6日(木) 17:00～19:00
開催方法：オンライン会議
議長：中菌明子 副委員長：榊明彦 委員長

【検討事項】

- 令和3年度実習指導者講習会の開催方法を検討し、感染拡大の現状を鑑みてオンラインで開催することを決定した。
- 第47回日本精神科看護学術集会の支部推薦論文の採否判定を行った。
- 精神科認定看護師制度について、以下①～④を検討した。
 - ① 令和3年度精神科認定看護師更新審査と資格喪失者
 - ② 精神科認定看護師再取得審査
 - ③ 精神科認定看護師認定試験
 - ④ 令和4年度精神科認定看護師教育課程シラバスについて
- 特定行為研修の運営について検討した。

【報告事項】

- 継続教育部会より、令和4年度の研修会一覧と「研修会のご案内」を「スタディガイド」に名称変更、および精神科看護職のクリニカルラダーについて報告した。
- 特定行為研修制度部会より、申請や説明会、ご案内、受講資格審査等の報告があった。

●精神科看護CONGRESS オンラインプレフォーラムを開催しました！

第47回日本精神科看護学術集会で予定している第2回精神科看護CONGRESSに先駆けて、1月28日(金)に「身体的拘束－精神科看護職がめざす方向性！」というテーマでフォーラムを開催しました(表参照)。

受付開始直後から、申し込みが殺到し2日間で定員に達するほど会員の皆様の関心が高く、多くの方にご参加いただきました。

本フォーラムでは、身体的拘束に関して、権利擁護や法律の側面だけの議論ではなく、医療や看護の側面からも患者の立場に立ってディスカッションすることを目的としています。今回は、過

表 プログラム

1. オープニング
2. 本フォーラムが対象とする身体的拘束とは？
3. 最高裁判決を、臨床はどのように受け止めたのか？
4. 行動制限最小化への取り組みは、なぜ、元に戻るのか？
5. 身体的拘束、私たち看護職がめざす方向性とは？
6. クロージング

司会

吉川隆博(一般社団法人日本精神科看護協会 会長、東海大学医学部 教授)

草地仁史(同 業務執行理事、看護政策局長)

指定発言者

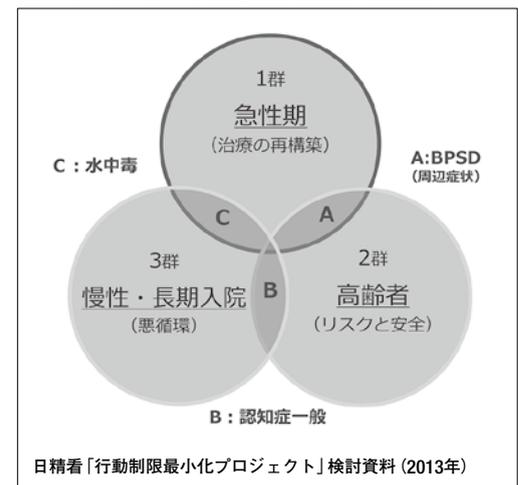
吉浜文洋(新潟医療福祉大学看護学部 教授、元・日本精神科看護協会業務執行理事)

去の判例なども資料にしながら、臨床現場での身体的拘束に関する受け止め方や、看護職がめざす方向性などについて議論を深めました。

本フォーラムは、著しい急性期症状を呈しているため、治療の再構築が必要な対象者(1群)のみを対象としました(図参照)。

参加者からは、患者の生命を保護するために様々な対策が報告される一方で、看護経験が長くなるほど、患者へのリスクを考えてしまうといった意見も聞かれました。今後も定期的に開催する予定です。

図 本フォーラムが対象とする身体的拘束



東洋羽毛 PRESENTS

これが自慢! (全国発) 日精看支部紹介

今月の支部

熊本県支部
[会員数:1029人]



支部役員集合写真
お話/長嶺幸弘 支部長

支部長の自己紹介 & 支部長としての心がけ

私は1978年に益城病院に入職し、86年に弓削病院へ。看護師資格を得て、働きながら産業能率大学情報マネジメント学部で学び、2011年に看護部長に就きました。趣味は自転車ロングライドと登山。モットーは「日々を大切に」です。

支部長として心がけているのは、役員・委員の皆さんが気持ちよく活躍できる場づくりです。支部長の

指示に従っていただくのではなく、それぞれの発想を持ち寄って皆で一緒に考えながら会員のためになる活動をめざしています。そのために、まず支部長である私自身が、皆さんの話をじっくり聞く姿勢を保とうと意識しています。

熊本県支部が大切にしているポリシーや強み

私たちの自慢は、1,000人を超える会員数という規模の大きさ、そして、事務局のチームワークです。縁あって日精看の支部活動にかかわることになった人と人が、さまざまな活動を通じて絆を深められるのは素晴らしいことだと実感しています。

この春から支部長は交代となりますが、熊本県支部が築いてきた経験の蓄積を、次代の支部長にも引き継いでいきたいと思っています。

熊本県支部主催の研修会、イベントなど

支部研修会の開催にあたっては、アンケートの回答などから現場で働く会員の皆さんの声をできるだけ反映しています。「行動制限」「思春期」といったテーマには、毎年多くの参加者が集まり、関心の高さが見られます。コロナ禍以前は80～120人ほどの参加がありました。昨年より取り組み始めたオンライン型の支部研修会も少しずつ参加が増え、「自宅でも研修を受けられるので助かる」と好評です。県外からの参加も見られます。慣れない運営ではありますが、今できる最大限の工夫を凝らし、よりよい学びの機会を提供していきたいという思いです。

熊本県を訪れたときにおすすめのスポット、お土産、ご当地情報など

飲食店や公共施設など建物内のドア付近に掲示されていることが多い「あとぜき」という言葉。これは熊本独自の表現だそうで「最後に入った人はドアを閉めてください」という意味です。ぜひ確かめてみてください。

上質な暮らしは、上質な眠りから
東洋羽毛

睡眠健康指導士が教える
気になる「眠り」の
キーワード

今月のキーワード

“「音」対策で
深い眠りに”

睡眠の質を下げる原因の一つとなる「音」。睡眠時には40dB(デシベル)以下(図書館、静かな昼の住宅地など)の静かな環境が適切であり、エアコン(約50dB)、テレビ(約60dB)など家電による生活音が睡眠を妨げる原因になることもあります。また、室外の騒音対策として寝室のカーテンを防音素材のものにするのもおすすめです。

お問い合わせ先/お客様相談室
☎ 0120-410840

提供/東洋羽毛工業
<https://www.toyoumo.co.jp>

News & Information 2022.3

学術集会

第47回 日本精神科看護学術集会のお知らせ

会期：令和4年6月24日(金)～6月25日(土)

第47回日本精神科看護学術集会は、新型コロナウイルス感染者数増加の状況を鑑み、開催形式の検討を続けております。開催詳細のお知らせが、例年より遅れておりますことお詫びします。

最新情報は、ホームページの学術集会専用ホームページ (<http://jpna-gakujutsu.jp/>) やSNSなどでぜひチェックしてください！
参加申し込みは、4月1日から開始予定です。

基調講演

地域づくりにおける精神科看護職の役割

【発言要旨】

精神疾患が「5疾病・5事業」に位置付けられ、「障害者差別解消法」が制定されるなど法整備は進んできたが、地域のあり方や精神障がい者の暮らしは変わったのだろうか？

精神障がいがあっても、自分が暮らしたい場所で、自らが望む生活をあたりまえに送れるようになるために、私たちはどのように取り組めばよいのだろうか？ また、「地域包括ケア」と「地域共生社会の実現」という両輪の施策の中で、精神科医療に携わる私たちの地域での役割はなんなのだろうか？

講演では、大分県佐伯市で10年間にわたり、患者さんやご家族が“棲み”暮らす受け皿である「地域」に出て、地域の仲間や諸機関と共に取り組んできた地域共生社会実現に向けた実践報告を通して、これからの取り組み方について共に考えたいと思います。



山内 勇人 (やまうち はやと)
在宅支援クリニックえがお 代表
一般社団法人共生社会実現サポート機構
とんとんとん 代表理事

【略歴】愛媛大学卒業後、内科医として14年間勤務し、がん治療や救命救急、在宅医療などを経験。2006年より精神科に転向し、松山記念病院を経て2010年より大分県佐伯市へ。診療拒否等で受診自体が困難な事例にも積極的に往診で介入している。

また、「診察室の中での支援には限界がある」と考え、「認知症になっても、障害があっても役割や生きがいを感じられる“ハートフル”な地域づくり」に諸機関と連携しながら取り組み、公民館などでの市民への疾患啓発などにも積極的に取り組む。さらに、支援する側・される側に分かれるのではなく、互いに支え支えられる共生社会のモデルづくりのため、一般社団法人共生社会実現サポート機構とんとんとんを2017年に設立し、代表理事を務める。

【発言要旨】

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムは、生活の場を中心に、日常生活圏域、基本圏域、精神保健福祉圏域における資源を知り、使い、支える体制づくりをめざしています。日精看は、精神障害に対する理解を深めるために啓発活動を展開してまいりました。また、2019年度はタウンミーティングを行い、地域住民の方々の「こころの健康に関するニーズ」や「精神科看護者に対する期待」などについてお聞きしてきました。その生の声に応えるべく、私たち精神科看護者が人的資源として、また精神科病院が社会にある資源として、地域の役に立つためには何をすべきかを考える必要があります。

そこで今回は山内先生の実践についても基調講演でお話しいただき、それをヒントに精神科看護者の役割について広く考える時間したいと思います。



東 美奈子 (あずま みなこ)
一般社団法人日本精神科看護協会 副会長
訪問看護 花の森、精神科認定看護師

【略歴】総合病院の勤務を経て、1992年より精神科病院(病棟・訪問看護室)で勤務、2002年より地域生活支援センター勤務。同年、精神科認定看護師取得。2007年より社会福祉法人ふあっとにて相談支援専門員。2015年、在宅支援の拠点として株式会社RETICE設立。訪問看護ステーションRelisaと相談支援事業所Reve開設。2021年より訪問看護 花の森に勤務。

2004年、地域密着型資源「周南精神障がい者の地域生活を支える会ふくふく」設立。2016年、NPO法人sapyuieとして法人格取得、理事長。

2009年、日本精神科看護協会理事、2019年、副会長。

学術集会

第29回 日本精神科看護専門学術集会 (島根県) 演題登録のお知らせ

会場：くにびきメッセ
〒690-0826 島根県松江市学園南1-2-1
会期：令和4年11月19日(土)～20日(日)
◎一般演題Aの演題登録期間
令和4年4月1日(金)～5月31日(火)
◎一般演題Bの登録期間
令和4年5月1日(日)～5月31日(火)
◎精神科認定看護師実践報告の投稿方法変更
令和4年5月1日(日)～5月31日(火)
精神科認定看護師の実践報告はオンラインでの投稿に変更します。4月1日に応募要項をホームページに掲載します。

※登録に関する詳細は、学術集会専用ホームページをご覧ください。(<http://jpna-gakujutsu.jp/>)
※専門学術集会では、「看護研究報告」「実践報告」「業務改善報告」のすべての応募が可能です。

学術集会

学術集会専用ホームページをご覧ください

第47回日本精神科看護学術集会の開催方法やプログラム、第29回日本精神科看護専門学術集会の演題登録のお知らせの詳細は、学術集会専用ホームページにアップいたします。最新情報をお見逃しなく！

学術集会専用ページはこちら
<http://jpna-gakujutsu.jp>



看護管理者の部屋

日精看ホームページの人気コーナー「看護管理者の部屋」をぜひご活用ください。「精神科看護管理ニュース」や診療報酬改定に関する資料をご覧ください。www.jpna.jp



研修会

研修会の申し込みスタート

3月1日(火)
午前10時から

協 会主催の研修会は協会ホームページから検索と閲覧、お申し込みができます。

お申し込みはWeb受け付けのみになりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします(「診療報酬算定要件研修」重度アルコール依存症看護は専用FAXのみで受け付け)。

また、これまで研修会の申し込みで使用できるブラウザが「Internet Explorer」に限定されており、皆様には大変ご不便をおかけしておりましたが、2022年度より「Google Chrome」および「Microsoft Edge」が使用できるようになりました。

本部主催研修会のお申し込み方法は、「日精看スタディガイド2022」4~5ページに記載していますので、ご参照ください。

●研修会の検索方法

本部主催の集合研修会およびオンライン研修会は「東京研修会場の研修会一覧をもっと見る」をクリックするか、「研修会を条件から絞り込む」から「協会 東京研修会場」にチェックを入れて絞り込むと、検索できます。

ネット九州開催の研修会および仁明会精神衛生研究所(兵庫県)開催の研修会は、「条件から絞り込む」からそれぞれにチェックを入れて検索してください(図1)。

そのほか、タイトルから絞り込んで検索することもできますので、みなさんの検索しやすい方法で検索してください。

●支部研修会について

支部研修会の詳細については、支部事務局へご確認ください(図2)。

図1 研修会の検索方法

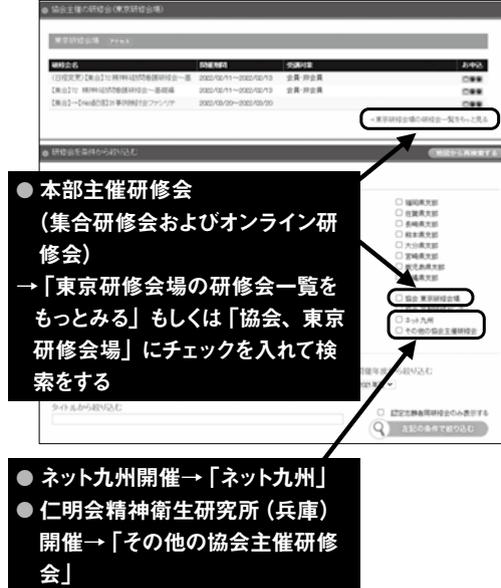


図2 支部の連絡先



入会手続き

新入会員、大募集します!

会員継続手続きもお忘れなく!

3月には新年度に入職する仲間たちを受け入れる準備に忙しい時期です。新入職者へのオリエンテーションでは、ぜひ「精神科看護PRムービー」をご活用ください。精神科看護の魅力が伝わる動画です。協会ホームページ「会員専用資料館」でダウンロードできます(ダウンロードパスワードは「jpnaj」)。3面でご紹介した日精看紹介動画も併せてご覧いただければ、日精看の活動や意義への理解が、より深まります。

また、4月からは新しく日精看に入会される方の手続きを受け付けます。皆様の職場に就職された方、精神科の現場に異動された方に、ぜひお声かけください。その際に必要なパンフレットは、協会事務局会員管理担当宛(TEL:03-5796-7033、平日8時~17時)にご請求ください。

なお、会員継続手続きがお済みでない方は、ぜひ手続きをさせていただきますよう、お願いいたします。



Message

診療報酬に日精看の要望が反映されました

日本精神科看護協会会長
吉川隆博



2022(令和4)年度診療報酬改定の個別改定項目が明らかになりました。精神科外来に通院する重点的な支援を要する患者に対する相談支援等の施設基準として、本協会の精神科認定看護師の配置が評価されることになりました。本協会からの要望が反映されたことをうれしく思うとともに、今後の精神科外来での看護職の取り組みに期待しています。

そろそろ集合研修会を

日本精神科看護協会業務執行理事
比嘉将和



コロナ禍において、多くの学術集会や研修会がWeb開催となっています。しかし、実際に顔を合わせコミュニケーションをはかりながら学ぶ機会は、モチベーションアップやリフレッシュを行ううえでも大切だと感じています。コロナの状況が刻一刻と変化していくなかで、早く安心して集合研修会が行えるようになることを願い、いまの状況を乗り越えていきましょう。

「精神科看護職のクリニカルリーダー」特設ページをご覧ください!

協 会ページの「精神科看護職のクリニカルリーダー」特設ページでは、日精看の継続学習支援について、動画でわかりやすく解説しています。

クリニカルリーダー導入の理由やしくみ、クリニカルリーダーをふまえた研修会の選び方など、基本から活用方法までを網羅しています。ぜひご視聴ください!



精神科認定看護師制度

精神科認定看護師の再取得

精 神科認定看護師の資格を喪失された方は、再取得をすることができます。下記の申請期間内に所定の書類を提出してください。詳細は、『精神科認定看護師制度ガイドブック令和3年改訂版』をご参照ください。

- 申請期間: 令和4年4月1日~4月10日
- 問い合わせ先: 協会事務局 認定事業担当 (TEL: 03-5796-7033)

シェアやいいね!も大歓迎!

ぜひご登録ください!

日精看
公式チャンネル

日精看
facebook

日精看
メールマガジン

精神科看護管理
ニュース

日精看公式LINEは1面のQRコードよりご登録ください!

Nursing Star

ナーシング・スター No.753 2022年3月1日発行

編集人 鈴木庸
デザイン 堀田沙友里、畔柳江里 (ピーワークス)
DTP・印刷 ビーワークス
運営 コッヘル
発行人 吉川隆博
発行 一般社団法人日本精神科看護協会
〒108-0075
東京都港区港南2-12-33 品川キャナルビル 7F
TEL 03-5796-7033 FAX 03-5796-7034
URL http://www.jpna.jp E-MAIL info@jpna.or.jp

広告のお問い合わせ nursingstar@m-s-com.com

©日本精神科看護協会 2022
本誌記事、写真、イラストの無断転載を禁じます。

次号(No.754)は2022年4月1日発行です。